

安全にご利用いただく為に

2021年04月

POPCHAT株式会社

目次

目次	2
1. 使用上のご注意	3
1.1. 安全にかかわる表示について	3
1.2. 記号とその内容	4
1.3. 一般的な注意事項	5
1.4. 電源・電源コードに関する注意事項	6
1.5. 設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項	7
1.6. お手入れ・内臓機器の取り扱いに関する注意事項	8
1.7. 運用中の注意事項	9

1. 使用上のご注意

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。
また、本文中の名称についてはドキュメントの「装置概要」をご確認ください。

1.1. 安全にかかわる表示について

本書では、本製品で危険が想定される箇所、状況について記載しております。
危険の程度を表す言葉として、「警告」「注意」という用語を用いています。
それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義しています。

 警告	人が死亡する、または重症を負う恐れがあることを示します。
 注意	火傷や怪我などを負う恐れや物的損害を負う恐れがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使用して表しています。
それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義します。

	このマークは危険が発生する恐れがあることを表しています。 中の絵表示は、危険の内容を図案化しています。
	このマークは行為の禁止を表しています。 中の絵表示は、禁止する行為を図案化しています。
	このマークは行為の強制を表しています。 中の絵表示は、しなければならない行為を図案化しています。

1.2. 記号とその内容

■ 注意の喚起

	<p>特定しない注意・警告を示します。</p>
	<p>感電の恐れがあることを示します。</p>
	<p>発煙、または発火の恐れがあることを示します。</p>
	<p>高温による障害を負う恐れがあることを示します。</p>

■ 行為の禁止

	<p>指定された場所以外には触らないでください。 感電や火傷などの傷害の恐れがあります。</p>
	<p>本機を分解・修理・改造しないでください。 感電や火災の恐れがあります。</p>
	<p>水や液体がかかる場所で使用しないでください。 水にぬらすと感電や発火の恐れがあります。</p>
	<p>濡れた手で触らないでください。 感電する 恐れがあります。</p>

■ 行為の強制

	<p>本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電の恐れがあります。</p>
---	--

1.3. 一般的な注意事項

 警告	
	<p>極めて高い信頼性が必要とされる環境での使用について</p> <p>極めて高い信頼性が必要とされる用途（鉄道、航空、医療用等での使用のうち、通信障害による影響度が極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム）に使用されることを意図した設計・製造はされておりません。</p> <p>これらの設備は機器、制御システム体系の中に本製品を組み込んで使用される場合、安全性、信頼性の確保について、自己責任で万全を期するようご注意ください。</p>
  発火注意	<p>煙や異臭、異音が生じたまま使用しない</p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、直ちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店、または保守会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因になります。</p>
  感電の恐れあり	<p>針金や金属片を差し込まない</p> <p>通気口のすきまなどから針金や金属片などの異物を差し込まないでください。感電の恐れがあります。</p>
	<p>濡れた手で触らない</p> <p>本製品を扱うときは、濡れた手で触らないでください。感電の恐れがあります。</p>
	<p>水濡れ禁止</p> <p>水などに濡れないようにしてください。漏電/感電の恐れがあります。</p>

 注意	
	<p>日本国外で使用しない</p> <p>本製品は日本国内のみ使用可能であり、日本国外では使用できません。</p>
   感電の恐れあり 発火注意	<p>本機内に水や異物を入れない</p> <p>本機内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。それらが内部に入ったときは、直ちに電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いた後、分解しないで販売店、または保守会社にご連絡ください。</p>

1.4. 電源・電源コードに関する注意事項

 警告	
  発火注意	電源コード・アダプタは添付品、または指定品のものを使用する 指定外のものを使用すると、発熱・発火の原因になります。
   感電の恐れあり 発火注意	電源プラグを中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のために発熱し、火災の原因となることがあります。差し込み口に埃がたまり、水滴が付くと発熱し、発火する恐れがあります。
  発火注意	たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となる恐れがあります。
   感電の恐れあり 発火注意	電源ケーブルを破損させない 電源コードが破損すると感電や発火の原因になります。以下のように扱わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを引っ張らない ・電源コードを折り曲げない ・電源コードをねじらない ・電源コードを踏まない ・電源コードを束ねたまま使わない ・電源コードをステーブラーなどで固定しない ・電源コードをはさまない ・電源コードに薬品類をかけない ・電源コードの上に物を載せない ・電源コードを改造・加工・修復しない ・損傷した電源コードを使わない(同じ規格の電源コードと取り換えてください)
   感電の恐れあり 発火注意	添付の電源コードを他の製品や用途に使用しない 添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の製品や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となる恐れがあります。
   感電の恐れあり 発火注意	電源ケーブルを持って引き抜かない ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐ引き抜いてください。ケーブルを持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

1.5. 設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

 注意	
 発火注意 	<p>指定以外の場所に設置・保管しない</p> <p>本製品を次のような場所に置かないでください。火災の原因となる恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具の近くなどの高温になる場所 ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所） ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所 ・振動の激しい場所 ・埃の多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因にもなります） ・腐食性ガスの発生する場所
 感電の恐れあり 	<p>カバーを外さないでください</p> <p>本製品の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、ドキュメントに記載がある場合を除いて、絶対にカバーを外さないでください。</p> <p>ユーザーに必要な部品は内包されていません。</p>
	<p>動作温度</p> <p>本製品は、指定された動作周囲温度の範囲で、ご使用ください。動作可能な周囲温度範囲は、ドキュメントに記載されています。</p> <p>特に、本製品をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には充分ご注意ください。また、専用のラックが存在する製品については必ず専用のものをご使用ください。</p>
 感電の恐れあり  発火注意 	<p>電源プラグを差し込んだまま取り扱わない</p> <p>設置、ケーブル配線接続、機器移動などを行う際は、本機の電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p> <p>たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま本機内の部品に触ると感電する恐れがあります。</p> <p>また、電源プラグは時々抜いて、乾いた布で埃やゴミをよく拭き取ってください。埃がたまったままで水滴などが付くと発熱し、火災の原因となる恐れがあります。</p>
 発火注意 	<p>ものを載せないでください</p> <p>本製品の上に物を載せないでください。上に物を載せた状態で使用すると加熱などにより、故障、火災の恐れがあります。</p>

1.6. お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

 警告	
 感電の 恐れあり  発火注意 	<p>自分で分解・修理・改造はしない</p> <p>ドキュメントに記載がある場合を除いて、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。</p>

 注意	
 やけど注意	<p>高温注意</p> <p>本機を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっている可能性があります。十分に冷めていることを確認してから取り外し/取り付けを行ってください。</p>
 発火注意 	<p>中途半端に取り付けない</p> <p>電源ケーブルや USB は確実に取り付けてください。 中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となる恐れがあります。</p>
	<p>日常のお手入れ</p> <p>本製品の汚れは、柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。</p>

1.7. 運用中の注意事項

 注意	
 感電の 恐れあり	
稲妻危険 雷が鳴りだしたら、ケーブル類を含めて本機には触れないでください。 また、機器の 接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電 の恐れがあります。	
 感電の 恐れあり	 発火注意
	
ペットを近づけない 本機にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本 機内部に入って火災や感電の原因となります。	